

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250566011001	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	● 日本国憲法 (教育学部 中学校・特支・幼稚園対象) (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部の中学校専攻と特別支援専攻と幼稚園専攻		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の3校時 (事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☒ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%) 100点満点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 教科書の該当部分を事前に読んで上で、それに関連した事柄について情報収集 (テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等) をしておくこと。(4時間)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	・教科書： 芦部信喜『憲法第八版』岩波書店 ・ポケット六法 (有斐閣)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks			
学生へのメッセージ/Message for students	予習をしっかりとして下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション (対面)
第 2 回	憲法の基礎 (対面)
第 3 回	国民主権と天皇制 (対面)
第 4 回	平和主義 (対面)
第 5 回	基本的人権の基礎 (対面)
第 6 回	包括的基本権と法の下の平等 (対面)
第 7 回	精神的自由権 (1) (対面)
第 8 回	精神的自由権 (2) (対面)
第 9 回	経済的自由権 (1) (対面)
第 1 0 回	経済的自由権 (2) (対面)
第 1 1 回	人身の自由・国務請求権・参政権 (対面)
第 1 2 回	社会権 (対面)
第 1 3 回	国会 (対面)
第 1 4 回	内閣・財政・地方自治 (対面)
第 1 5 回	裁判所・憲法改正 (対面)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250566011002	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	● 日本国憲法(人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部 of 学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazukeya▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の3校時(事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☒ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%) 100点満点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)教科書の該当部分を事前に熟読した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等)をしておくこと。(4時間)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	・教科書： 芦部信喜『憲法第八版』岩波書店 ・ポケット六法(有斐閣)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	4/5以上の出席が必須。加えて、この講義は2限連続の講義の為、初日(第1回と第2回)の講義を欠席した学生は、単位を取れませんので注意して下さい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks			
学生へのメッセージ/Message for students	予習をしっかりとして下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション (対面)
第 2 回	憲法の基礎 (対面)
第 3 回	国民主権と天皇制 (対面)
第 4 回	平和主義 (対面)
第 5 回	基本的人権の基礎 (対面)
第 6 回	包括的基本権と法の下の平等 (対面)
第 7 回	精神的自由権 (1) (対面)
第 8 回	精神的自由権 (2) (対面)
第 9 回	経済的自由権 (1) (対面)
第 1 0 回	経済的自由権 (2) (対面)
第 1 1 回	人身の自由・国務請求権・参政権 (対面)
第 1 2 回	社会権 (対面)
第 1 3 回	国会 (対面)
第 1 4 回	内閣・財政・地方自治 (対面)
第 1 5 回	裁判所・憲法改正 (対面)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250566011003	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GE0C 12611_002		
授業科目名 / Course title	● 日本国憲法 (教育学部 小学校対象) (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部小学校専攻の1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 本館 5 0 6		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の授業後。それ以外は、事前にメールにてアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国の根本規範としての憲法の実在意義ならびに基本原理 (普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制及び日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄) を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。		
授業到達目標/Course goals	受講生が 憲法の基本概念を理解し、自分の言葉で説明できるようになること、主権者としての自覚をもち、日本における憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えることができること、地球市民として、日本社会だけでなく国際社会の諸問題にも目をむけることができるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	憲法理念に関する具体的問題の理解に関するレポート 4 0 点、定期試験 (憲法の基本原理の理解・国内外の時事問題・自分の言葉で語ることができる能力等を観る) 6 0 点の総合評価。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 事前にLACSに挙げるレジュメに書かれている内容について、特にキーワードを中心に自身で調べること (2h) 事後学習: 授業で取り上げた内容について、教科書やレジュメをもとに理解を深めること (2h)		
キーワード/Keywords	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Materials	【テキスト】播磨信義・上脇博之・木下智史・脇田吉隆・渡辺洋【編著】『新・どうなってる!? 日本国憲法 憲法と社会を考える 【第3版】』法律文化社 なお、毎回の授業においてLACSにレジュメを挙げるとともに、適宜判例や参考文献についての情報を学生に発信する。 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	コロナ禍の経験を踏まえ、場合によっては対面とリアルタイムオンラインとの混合型の授業を行う場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握－国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造－立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250566011004	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	【Online】・日本国憲法(人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら、日本国憲法の全体を学ぶ。 基本的人権に授業の半分強をあて、象徴天皇制や平和主義、統治機構に残りをあてる。 この授業は全ての回をオンライン(オンデマンド形式)で行う。 毎週水曜日にLACSの「授業資料」の中に授業を公開する。 1週間の受講期間を設けるので、受講者は翌週火曜日までにLACS上で受講して課題を提出すること。 オンデマンド授業のため、この課題の提出をもって出席とみなす。 また、この授業は受講者数が多く、期限の過ぎた課題の提出は教員が管理できないため、一切受理しない。 これらのことを納得した上で受講されたい。 なお、履修者は第1回目の授業開始日までに必ずLACSにアクセスして、受講要領を確認すること。		
授業到達目標/Course goals	憲法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 憲法の基礎的な論点について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内で行う課題の提出50点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 おおむね教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易になる。(2h) 復習 教科書と配布資料、ノートを再読し、理解を確実にするように努める。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 安西文雄・巻美矢紀・穴戸常寿『憲法学読本(第3版)』有斐閣		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面（オンライン含む）形式で行う。 第1回目の授業日の前に、必ずLACSにログインして「連絡事項」を確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス / 総論1：法とは（オンライン）
第2回	総論2：日本国憲法の沿革（オンライン）
第3回	総論3：国民主権・象徴天皇制（オンライン）
第4回	総論4：平和主義（オンライン）
第5回	基本的人権1：人権総論（オンライン）
第6回	基本的人権2：法の下での平等（オンライン）
第7回	基本的人権3：思想・良心の自由（オンライン）
第8回	基本的人権4：信教の自由（オンライン）
第9回	基本的人権5：表現の自由総論（オンライン）
第10回	基本的人権6：表現の自由の現代的課題、学問の自由（オンライン）
第11回	基本的人権7：社会権（オンライン）
第12回	基本的人権8：新しい人権（オンライン）
第13回	統治機構1：国会（オンライン）
第14回	統治機構2：内閣（オンライン）
第15回	統治機構3：裁判所、憲法訴訟（オンライン）
第16回	定期試験（オンライン）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2025/06/09 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250566011005	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	【Online】・日本国憲法(人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら、日本国憲法の全体を学ぶ。 基本的人権に授業の半分強をあて、象徴天皇制や平和主義、統治機構に残りをあてる。 この授業は全ての回をオンライン(オンデマンド形式)で行う。 毎週水曜日にLACSの「授業資料」の中に授業を公開する。 1週間の受講期間を設けるので、受講者は翌週火曜日までにLACS上で受講して課題を提出すること。 オンデマンド授業のため、この課題の提出をもって出席とみなす。 また、この授業は受講者数が多く、期限の過ぎた課題の提出は教員が管理できないため、一切受理しない。 これらのことを納得した上で受講されたい。 なお、履修者は第1回目の授業開始日までに必ずLACSにアクセスして、受講要領を確認すること。		
授業到達目標/Course goals	憲法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 憲法の基礎的な論点について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内で行う課題の提出50点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 おおむね教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易になる。(2h) 復習 教科書と配布資料、ノートを再読し、理解を確実にするように努める。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 安西文雄・巻美矢紀・穴戸常寿『憲法学読本(第3版)』有斐閣		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面（オンライン含む）形式で行う。 第1回目の授業日の前に、必ずLACSにログインして「連絡事項」を確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス / 総論1：法とは（オンライン）
第2回	総論2：日本国憲法の沿革（オンライン）
第3回	総論3：国民主権・象徴天皇制（オンライン）
第4回	総論4：平和主義（オンライン）
第5回	基本的人権1：人権総論（オンライン）
第6回	基本的人権2：法の下での平等（オンライン）
第7回	基本的人権3：思想・良心の自由（オンライン）
第8回	基本的人権4：信教の自由（オンライン）
第9回	基本的人権5：表現の自由総論（オンライン）
第10回	基本的人権6：表現の自由の現代的課題、学問の自由（オンライン）
第11回	基本的人権7：社会権（オンライン）
第12回	基本的人権8：新しい人権（オンライン）
第13回	統治機構1：国会（オンライン）
第14回	統治機構2：内閣（オンライン）
第15回	統治機構3：裁判所、憲法訴訟（オンライン）
第16回	定期試験（オンライン）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250566011006	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	【Online】●日本国憲法(人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら、日本国憲法の全体を学ぶ。 基本的人権に授業の半分強をあて、象徴天皇制や平和主義、統治機構に残りをあてる。 この授業は全ての回をオンライン(オンデマンド形式)で行う。 毎週水曜日にLACSの「授業資料」の中に授業を公開する。 1週間の受講期間を設けるので、受講者は翌週火曜日までLACS上で受講して課題を提出すること。 オンデマンド授業のため、この課題の提出をもって出席とみなす。 また、この授業は受講者数が多く、期限の過ぎた課題の提出は教員が管理できないため、一切受理しない。 これらのことを納得した上で受講されたい。 なお、履修者は第1回目の授業開始日まで必ずLACSにアクセスして、受講要領を確認すること。		
授業到達目標/Course goals	憲法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 憲法の基礎的な論点について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内で行う課題の提出50点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 おおむね教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易になる。(2h) 復習 教科書と配布資料、ノートを再読し、理解を確実にするように努める。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 安西文雄・巻美矢紀・穴戸常寿『憲法学読本(第4版)』有斐閣		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	オンライン（オンデマンド形式）で行う。 第1回目の授業日の前に、必ずLACSにログインして「連絡事項」を確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス / 総論1：法とは（オンライン）
第2回	総論2：日本国憲法の沿革（オンライン）
第3回	総論3：国民主権・象徴天皇制（オンライン）
第4回	総論4：平和主義（オンライン）
第5回	基本的人権1：人権総論（オンライン）
第6回	基本的人権2：法の下での平等（オンライン）
第7回	基本的人権3：思想・良心の自由（オンライン）
第8回	基本的人権4：信教の自由（オンライン）
第9回	基本的人権5：表現の自由総論（オンライン）
第10回	基本的人権6：表現の自由の現代的課題、学問の自由（オンライン）
第11回	基本的人権7：社会権（オンライン）
第12回	基本的人権8：新しい人権（オンライン）
第13回	統治機構1：国会（オンライン）
第14回	統治機構2：内閣（オンライン）
第15回	統治機構3：裁判所、憲法訴訟（オンライン）
第16回	定期試験（オンライン）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250588023901	科目番号 / Course code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Course title	●モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス(人文・社会科学科目) / Business foundations through playing MONOPOLY®		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習型の集中講義です。形態は対面・対戦のみ。 MONOPOLYのゲーム対戦をふまえて、ゲームの舞台を知り(土地・税制史,銀行,企業金融,民法),楽しむことの意義を学術的に検討し(定石,交渉術と遊び,アクティブラーニング),さらに実務へのゲートウェイを探究する(不動産所得の経費,サービスと経営成果,経営リテラシー,区分所有法のいわゆる3条団体)。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び,考え,主張し,行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために,紳士・淑女としてゲームを楽しみ,また振る舞えること。ゲームと現実社会との基本的な異同を説明できること。ゲームと人文・社会科学入門とのインターフェイスを説明できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ■E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOLYのプレイヤーと銀行係の両方を体験させる。 ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゲームへの関与(30%),小演劇またはレポート課題(30%),筆記試験(40%,持ち込み可)。開講時に詳しく説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	レポート課題報告または小演劇にむけて教科書の入手と精読。LACSチェック。開講時までに教科書に目を通しておくことが望ましい。余裕があればゲームの流れをYouTubeで予習しておくことが望ましい。教科書やLACS講義資料をクラスの終了後や卒業後も参照するとよい。(事前2h,事後2h)		
キーワード/Keywords	MONOPOLY®,不動産経営,資産運用,複式簿記,抵当権,処世術・交渉術,土地・税制・税法,民法,区分所有法とその関連法令		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書:林徹(2023)『モノポリーで学ぶビジネスの基礎(第3版)』中央経済社。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	対面での対戦(=かんたんな日本語による会話)が可能であること。必携PC(Windows11または10)。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	すべて対面で実施。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学生協などで教科書を入手のうえ、開講時と試験時に持参してください。やむを得ない事情により遅刻・欠席をする、した場合は、それが正当な事由であることを証明できる書面等を写メで撮り、すみやかに教員宛LACSメッセージにそれを添付送信してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程（所得税法上の勤労学生：1983-1988）に在籍中,老舗割箸小売商,有限会社遠州屋商店（横浜市中区長者町）において,横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引（御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり）,視覚障がいをおもちの内職さんとの取引（割箸袋への割箸の挿入）,その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般,トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	すべて対面で実施。 名札記入,記録帳（30%）配布,デモンストレーション,単位認定の説明
第2回	ゲーム1 とにかくやってみる
第3回	ゲーム2 とにかくやってみる
第4回	ゲーム3 ボード上のマスすべてとカード32枚の確認
第5回	ゲーム4 筆記試験（40%）案内
第6回	ゲーム5 公式ルール確認（競売,交渉・取引,家・ホテル,JAIL）
第7回	ゲーム6 公式ルール確認（キャッシュ,抵当・解除,破産,その他）
第8回	ゲーム7 不動産経営に関するサイトの紹介
第9回	ゲーム8 試験範囲に関する質疑応答
第10回	筆記試験（持ち込み可）
第11回	レポート課題または小演劇（30%）の準備・相談・手伝い1
第12回	レポート課題または小演劇の準備・相談・手伝い2,筆記試験返却と講評
第13回	レポート課題報告（単独）または小演劇1（グループまたは単独）
第14回	レポート課題報告（単独）または小演劇2（グループまたは単独）
第15回	ゲーム9 または交歓会（記録帳提出）
第16回	講評と意見交換

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250588026701	科目番号 / Course code	05880267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16661_002		
授業科目名 / Course title	●今と昔の長崎に遊ぶ(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / Enjoy Thinking about Old and Modern Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中島 貴奈 / Nakajima Takana, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 増崎 英明 / Masuzaki Hideaki, 井手 弘人 / Ide Hiroto, 張 子康 / Zhang Zikang, 王 維 / Wang Wei, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta, 吉良 史明 / Kira Fumiaki, TOET RUDY, 櫻本 由貴 / Kashimoto Yuki, 田口 由香 / Taguchi Yuka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中島 貴奈 / Nakajima Takana, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 増崎 英明 / Masuzaki Hideaki, 井手 弘人 / Ide Hiroto, 張 子康 / Zhang Zikang, 王 維 / Wang Wei, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta, 吉良 史明 / Kira Fumiaki, TOET RUDY, 櫻本 由貴 / Kashimoto Yuki, 田口 由香 / Taguchi Yuka		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takanan▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください) ただし、メールでの問い合わせの回答は遅れる可能性があるので【LACSのメッセージ機能】をご利用ください。		
担当教員研究室/Office	教育学部6階623研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントをとること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、長崎の歴史・文化・経済・言語・哲学等のプロフェッショナル15人が、長崎の隠された魅力を講義し、学生のみなさんとともにその魅力をさらに深く探求していきます。 みなさんがご存知の通り、長崎は諸外国との窓口の役割を長らく果たしてきました。ポルトガル・オランダ・中国を始め、外国の文化が流れ込み、日本の文化と融合した都市、それが長崎です。つまり、グローバル化が叫ばれる現代に先駆けて、数百年も前からグローバル化が行われていたのです。その長崎文化の魅力と本質を長崎という文化空間に即して解明すること、いうなればグローバル(グローバルとローカルを掛けた造語)な視点からの検証を行うことが本講義の目的です。長崎の地に住んだ人々がどのように長崎の文化を形作ってきたのか。15回の講義を通して、幅広い教養を身に付け、その教養を駆使して、この疑問に対する答えをともに導き出していきたいと思います。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、今と昔の長崎の魅力を深く探求し、その魅力を学生のみなさん一人一人が国内外に向けて発信していけるようになることを大きな目標として掲げます。以下は、その詳細です。 様々な文献・資料に基づき、長崎の魅力を調べることができる。 長崎の町がどのようにして作られてきたか、歴史に照らして考察することができる。 深く探求した長崎の魅力と歴史的な位置付けを自身の言葉で取りまとめ、様々な人に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、次の２つの項目から行います。 期末レポート ３０％ 全14回の講義から得たヒントをもとに、みなさんが長崎の文化を詳しく調べ、その魅力をレポートに取り纏めるものです。いまだ解き明かされていない長崎文化の魅力にみなさんがどのようにアプローチするか、独創的かつ具体的なレポートであることを重視します。 コメントカード ７０％ 各回の授業終わりの１０分間を使い、その回の講義から学んだこと、疑問、御自身の考え等をコメントカードとしてGoogle Form等に記入します。	
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習においては、教科書の内容を読んでおくこと。また、長崎の文化に関して、各回授業のキーワードをもとに図書館2階配架の参考書籍を読み、調べてくること（各回2時間程度の予習）。また、事後学習にあたっては、授業内容、さらに参考書籍を再度読み直し、自身独自の観点から長崎文化を深く探求すること。さらに、長崎歴史文化博物館および長崎県美術館と本学はキャンパスメンバーズの提携をしており、無料もしくは半額程度で常設展特別展を観覧できます。同博物館と美術館には長崎の歴史文化を物語る数多くの資料が収蔵展示されていますので、学期中一度は足を運ぶことを必須とします。（各回2時間程度の復習かつ独自学習）。	
キーワード/Keywords	長崎、詳細は各回の授業キーワードを参照	
教科書・教材・参考書/Materials	『今と昔の長崎に遊ぶ』（九州大学出版会、2021年）。また、参考書は、図書館2階に授業資料コーナーを作り配架していますので、皆さんぜひ積極的に読んで下さい。参考書は、各回担当教員の著書、また学術論文等です。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	長崎に興味がある方は、どなたでも大歓迎です！	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は対面実施の予定です。	
学生へのメッセージ/Message for students	みなさんがいまいるこの長崎は、国内はもちろん世界からも注目されている街です。長崎の魅力を深く、そして多角的に考えることを通して、その魅力を世界に向けて発信していきましょう。また、グローバル化社会に生きる私たちが明日をより良く生きるための力とヒントが長崎の街には隠されています。その隠されたヒントをとともに見つけていきましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 4月9日	南蛮時代の長崎 増崎英明 《宣教師》対面授業	A B
第2回 4月16日	ポルトガル人が聞いた室町末期の長崎ことば 前田 桂子 《長崎方言》対面授業	A B
第3回 4月23日	近世貿易都市長崎の特質を考える―尾曲がり猫はどこからきたか―木村直樹 《長崎貿易》対面授業	A B
第4回 5月7日	交響する長崎の中国文化―おどり、りょうり、まつり― 王維 《中国文化》	A B
第5回 5月14日	仲介者としての通事たち―阿蘭陀通詞と唐通事 張子康 《長崎通事》	A B
第6回 5月21日	長崎八景―漢詩から長崎版画へ 中島貴奈 《長崎名所》対面授業	A B
第7回 5月28日	長崎の鎮守諏訪神社 吉良史明 《国学》《外国文化》対面授業	A B
第8回 6月4日	出島オランダ商館で書かれた最後の日本文典の成立とその背景 TOET RUDY 《『日本文法稿本』》対面授業	A B
第9回 6月11日	長崎における海軍伝習 南森茂太 《海軍伝習》対面授業	A B
第10回 6月18日	幕末期における長崎のグラバー商会と志士たち―長州藩・薩摩藩のイギリス留学― 田口由香 《幕末の志士》対面授業	A B

第11回 6月25日	近代俳句が見つめた長崎—水原秋櫻子を中心に— 樫本 由貴《原爆俳句》対面授業	A B
第12回 7月2日	武士が、砂糖で、商人へ —長崎の明治期士族授産事業からみる「近代知」の流れ — 井手弘人 《明治の近代化の内実》対面授業	A B C D
第13回 7月9日	長崎と広島原爆航空写真について 全炳徳 《原爆》	A B
第14回 7月16日	軍艦島の今と未来 出水享 《軍艦島》対面授業	A B D
第15回 7月23日	担当教員と学生の意見交換・質疑応答 授業振り返り	A B D

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594000901	科目番号 / Course code	05940009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●お金を通して社会・人間を考える(人文・社会科学科目) / Money, Society and Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mshikimi▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館 6 階630		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後10分に対応します。メールにて事前予約を取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々は、モノやサービスの購入などの経済活動を行うためににお金を必要とする。お金の価値が守られるための金融のしくみについて、考察する。		
授業到達目標/Course goals	金融が、消費者や企業の活動に、どのような機能を果たしているかを説明できる。 銀行の機能とそれが果たされるためにどのような仕組みが設けられているかが説明できる。 利子率とは何か、利子率はどのように決まるかが説明できる。 株価が理論的にどのような要因に影響を受けるかが説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	中間試験約50%、期末試験約50%とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前：LACSにアップされる講義資料、関連する教科書の章を熟読すること。(2h) 事後：講義資料、教科書を再読し、課題および宿題に取り組み、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	貨幣、中央銀行、金融システム、情報の非対称性、株価		
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】 岩田規久男『テキストブック金融入門』東洋経済新報社、2008年。 【参考書】 池尾和人『現代の金融入門』新版、ちくま新書、2010年。 晝間文彦『基礎コース 金融論』第4版、2018年。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	入門レベルの統計学の知識があることが望ましい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	授業の進捗状況により、シラバス内容や授業の進め方、教科書の使用範囲などを調整変更することがあります。学習方法としては、教科書をよく読むことを勧めます。新聞等で報道される金融に関するニュースや企業についてのニュースに関心を持ってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：金融取引とは（対面）
第2回	貨幣による決済：電子マネーは貨幣？（対面）
第3回	銀行と決済制度（対面）
第4回	貨幣の供給（対面）
第5回	決済システムの安定性（対面）
第6回	貨幣の過不足と貯蓄・投資の関係（対面）
第7回	中間試験（対面）
第8回	直接金融と間接金融（対面）
第9回	間接金融のしくみ、リスクと金融制度（対面）
第10回	金融市場と金融資産（対面）
第11回	金利と資産の価格 1（対面）
第12回	金利と資産の価格 2（対面）
第13回	金利・資産価格と経済行動（対面）
第14回	まとめと復習（対面）
第15回	まとめと復習（対面）
第16回	授業の総括（期末試験含む）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/06/09 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594002101	科目番号 / Course code	05940021
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●環境問題の歴史から学ぶ(人文・社会科学科目) / The History of Environmental Problems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 大田 真彦 / OTA Masahiko, 五島 聖子 / Goto Seiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 大田 真彦 / OTA Masahiko, 五島 聖子 / Goto Seiko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生(環境科学部の学生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	白川: seijishirakawa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) 五島: gotos▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) 大田: masahikoota▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部3F 環321 白川教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現在存在する環境問題の解決策を考える上で、過去の環境問題とその解決法や取り組みについて知ることは重要である。本講義では、様々な視点で過去および現在の環境問題について知ることで、環境問題について深く考える。また、講義で得た新たな知識を参考に、自分自身の環境問題に対する姿勢を深く考えていく。		
授業到達目標/Course goals	日本や海外の環境問題のいくつかの事例に歴史について説明できる。環境問題に対する自身の姿勢および意見を他者に述べることができる。他者の環境問題に対する姿勢および意見に対する議論を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各講義ごとのレポートによる評価(50%)、授業への貢献度(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	復習: 講義内容の復習 (1コマ毎 4 h)		
キーワード/Keywords	環境問題、公害、社会システム、資源利用		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	環境問題に関心を持っている。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業実施方法については、講義開始後にアナウンスします。
学生へのメッセージ/Message for students	環境問題について再度じっくり学び、考え直すことで、今後の環境問題に対する意識を高めて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回：6/11, 3限	対面：白川担当 講義の概要
第2回：6/11, 4限	対面：白川担当 公害問題 1
第3回：6/18, 3限	対面：白川担当 公害問題 2
第4回：6/18, 4限	対面：白川担当 公害と化学
第5回：6/25, 3限	対面：白川担当 公害問題について考える
第6回：6/25, 4限	オンライン(オンデマンド)：五島担当 都市緑地について
第7回：7/2, 3限	オンライン(オンデマンド)：五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題（イギリス）
第8回：7/2, 4限	オンライン(オンデマンド)：五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題（フランス）
第9回：7/9, 3限	オンライン(オンデマンド)：五島担当 日本の自然観について
第10回：7/9, 4限	オンライン(オンデマンド)：五島担当 明治以降の日本の都市緑地について
第11回：7/16, 3限	対面：大田担当 近代以前の資源循環
第12回：7/16, 4限	対面：大田担当 食料生産と土地利用
第13回：7/23, 3限	対面：大田担当 日本における人間－森林関係
第14回：7/23, 4限	対面：大田担当 世界各地の人間－森林関係
第15回：7/30, 3限	オンライン(リアルタイム)：大田担当 人類の未来と資源利用を考える

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2025/06/09 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594002901	科目番号 / Course code	05940029
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 芸術の世界(人文・社会科学科目) / The World of Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmakino▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術棟2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2350		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降の美術の概観と課題を理解するうえで、理解を深めるため、西洋造形に基づいた基本的な素描を通して、今日に必要な教養の拡充に努める。		
授業到達目標/Course goals	1. 近代以降の美術史と問題意識が理解できるようになる。 2. 基本的な西洋造形のルールと仕組みを理解し、これを平面上で表現できるようになる。 3. 美術の視点から、分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	LACSに1500点分の問題あるいはレポートを用意する。講義を受講後、回答する。この点数の積み重ねによって60%以上を段階的に評価する。また、講義に3分の2以上出席しているものを評価対象とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 適宜、講義内で指示します。(2h) 復習: 適宜、講義内で指示します。(2h)		
キーワード/Keywords	素描・近代美術・西洋造形の表現		
教科書・教材・参考書/Materials	資料は授業内で配布します。また、第2回から素描を行いますので、鉛筆など素描用具が必要です。課題によっては、各自モチーフを用意してもらうことがあります。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	素描を中心に行うため、必要な鉛筆など素描用具・スケッチブックを準備できること。(オリエンテーション時に詳細をお知らせします。)課題制作は講義時間内で終わらないことがありますので、積極的に課題に取り組めること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は、オンラインと書かれたものについてはリアルタイムで実施します。対面と書かれたものについては、講義室で授業を行います。初回で授業計画を説明しますが、状況によっては、変更する場合があります。その際は、LACSで連絡します。また、授業ごとに素描した作品は、最終回で、実物をまとめるのに使用しますので、捨てないようにしてください。	
学生へのメッセージ/Message for students	講義の中心となる素描は、表現ですから他者に伝達できて初めて成立します。受講者のみなさんは、素描が上手である必要はありませんが、講義内で伝えた造形上のルールが著しく表現できていない場合、提出物が評価の対象にならないことがあります。例えば、造形上のルールが反転している場合などがこれにあたります。そこで学習内容を表現したものが、他人に伝えられるように、復習を重点的に行ってください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	N	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーションと近代以降の美術の造形意識について （リアルタイムオンライン）	A
第2回	基本形態と明度・彩度とパースペクティブなどの造形のルールについて （リアルタイムオンライン）	A
第3回	素描（直方体・立方体）について （リアルタイムオンライン）	A C
第4回	素描（球・円柱）について （リアルタイムオンライン）	A C
第5回	素描（多面体）について （リアルタイムオンライン）	A C D
第6回	素描（複数の基本形態の組み合わせ）について （リアルタイムオンライン）	A C D
第7回	構図と素描の関係について （対面）	A C
第8回	素描（想定された状況における造形）について （対面）	A D
第9回	素描（支持体の明度が反転した状況における）の概念について （対面）	A D
第10回	素描（支持体の明度が反転した状況における）の実際について （対面）	A D
第11回	素描と関係（完成度）について （対面）	A D
第12回	素描と関係（バールール）について （対面）	A D
第13回	素描（自画像）描きだしについて （対面）	A D
第14回	素描（自画像）完成について （対面）	A D
第15回	まとめ （対面）	A

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594003101	科目番号 / Course code	05940031
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 国際比較刑事法入門—グローバル化する犯罪と刑事手続(人文・社会科学科目) / Introduction to International Comparative Criminal Law : Globalization of Crimes and Criminal Procedure		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河村 有教		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	河村 有教		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	河村 有教		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawamura▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟(多文化社会学研究科・多文化社会学部)11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2953(研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにてアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、刑事法(刑法、刑事訴訟法、少年法等)の基礎について学習する。各国の国内法によってどのような行為が犯罪となるのかは異なる。また、犯罪に対する刑罰についても同様に異なる。日本の刑法では死刑が刑罰の一つに規定されているが、死刑をめぐる「人権」との関係で国際社会による批判もある。どのような人権が憲法・基本法で保障されているのか、人権の保障も各国の国内法の内容は様々である。犯罪がグローバル化する中で、各国の間では刑事司法共助に関する条約の締結が進められているが、刑事司法共助をめぐる課題も多い。本授業では、日本の刑事法を中心に学習しながら、「香港における人身の自由」やカルロス・ゴーン国外逃亡の問題等にもふれ、「外」の視点(グローバルな視点)も重視しながら、各国の「法」を比較することにより日本の刑事法について見つめなおす。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び、考え、主張し、行動すること」ができ、「分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につける」ことを目的とする(全学共通のディプロマ・ポリシー)。既存の法及び制度を批判的に論じ、よりよい法や制度となるように、未来社会を構想し得る力を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☒ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験を実施する(60%)。授業への出席及びコメントシートの提出(40%)。 万一オンライン授業になった場合には、レポート等の課題を課し、レポートの提出を求めることもある。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	教科書については、事前の予習、事後の復習の教材としても役立ててください。授業のテーマに関わりそうな図書や雑誌、新聞記事等の資料を読み、「法と人権」の問題について考えること。(予習2時間・復習2時間)		
キーワード/Keywords	刑法, 刑事訴訟法, 少年法, 犯罪, 刑罰, 刑事手続, 刑事司法共助		

教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】河村有教『入門刑事訴訟法【第2版】』（晃洋書房，2022年） 教科書等については、初回の講義で教科書・参考書等の説明を聞いて確認したうえで購入してください。 『ポケット六法』（有斐閣）の購入をお勧めします（『デイリー六法』（三省堂）も可です）。試験で六法の持ち込みを可としています。不正行為防止の点から試験では、PCやi phone等を利用した六法検索は認められません。法律改正や新しく立法される法律があるので、六法については最新版を購入のこと。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本講義は、すべて対面で実施する予定です（試験を含みます）。
学生へのメッセージ/Message for students	文系の学生のみならず、刑法、刑事訴訟法、少年法等の刑事法に関心のある理系の学生を歓迎します。法律の条文を自分の目で確認しながら、楽しく学習しましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「法」とは何か？「法」は私たちの生活にどのような意義を有しているのか？
第2回	私たちが法的責任を問われるとき－刑事事件と民事事件
第3回	人身の自由とDue Process of Lawの保障
第4回	刑法と罪刑法定主義－「香港における人身の自由」を考える
第5回	絞首刑（死刑）という刑罰について考える
第6回	警察による犯罪の予防と犯罪の捜査－法律と判例による統制
第7回	GPS捜査は任意捜査として許されるのか？－日米の判例から
第8回	警察による強制的な身柄確保・拘束－国外逃亡者カルロス・ゴーンの声明を考える
第9回	警察による強制的な証拠の収集
第10回	死因究明における調査と犯罪捜査の課題－法医学への期待
第11回	検察官による公訴の提起
第12回	検察審査会について考える
第13回	刑事裁判における事実認定と量刑
第14回	刑事裁判での使ってよい証拠とよくない証拠
第15回	刑事裁判と少年審判は何がどう違うのか？
第16回	期末試験

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594003301	科目番号 / Course code	05940033
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	【Online】●市民社会と法(人文・社会科学科目) / Civil Society and Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	家族、相続、ジェンダー、消費者、不動産、事故。社会の一員として生きるうえで誰もが関わりうる身近な6つの分野について、法がどのように規律しており、それに基づいて社会で何が行われ、実際の争いにおいて裁判所がどのように判断したのかなどを学ぶ。また、これらに加え、将来みなさんが市民として関わるかもしれない裁判員制度についても理解を深める。 この授業は全ての回をオンライン(オンデマンド形式)で行う。 毎週水曜日にLACSの「授業資料」の中に授業を公開する。 1週間の受講期間を設けるので、受講者は翌週火曜日までにLACS上で受講して課題を提出すること。 オンデマンド授業のため、この課題の提出をもって出席とみなす。 また、この授業は受講者数が多く、期限の過ぎた課題の提出は教員が管理できないため、一切受理しない。 これらのことを納得した上で受講されたい。 なお、履修者は第1回目の授業開始日までに必ずLACSにアクセスして、受講要領を確認すること。		
授業到達目標/Course goals	私法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 社会における具体的な問題について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内で行う課題の提出50点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 各回のテーマについて予めネットで情報収集し、自分の考えをまとめておくこと。(2h) 復習 配布資料やノートを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	資料を配布し、必要に応じて参考文献を指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	オンライン（オンデマンド形式）で行う。 第1回目の授業日の前に、必ずLACSにログインして「連絡事項」を確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	法とは1（基礎） さまざまな法分野、裁判制度を概観する。また、市民が刑事裁判に参加することの意義を考え、裁判員制度への理解を深める。（オンライン）
第2回	法とは2（発展）（オンライン）
第3回	家族と法1（基礎） 婚姻、離婚、親子、養子など社会の最小単位ともいえる家族における法を学ぶ。（オンライン）
第4回	家族と法2（発展）（オンライン）
第5回	相続と法1（基礎） 親が死亡した場合に残された遺産を家族でどのように分けるのか、家族財産の処遇について学ぶ。（オンライン）
第6回	相続と法2（発展）（オンライン）
第7回	ジェンダーと法1（基礎） 生物学的性別とは異なる社会的性別をジェンダーという。家族や企業、政治など様々な社会でのジェンダーバランスについて、法はどのような役割を果たしているのかについて学ぶ。（オンライン）
第8回	ジェンダーと法2（発展）（オンライン）
第9回	消費者と法1（基礎） 私たちは誰もが消費者である。圧倒的に多くの情報をもつ企業と情報力に乏しい消費者との争いをどのように解決するのかについて学ぶ。（オンライン）
第10回	消費者と法2（発展）（オンライン）
第11回	不動産と法1（基礎） 不動産とは土地と建物のことである。一人暮らしをしている学生は家主とマンションの賃貸借契約を結んでいるだろうし、将来的にはローンを組んで家を買うかもしれない。そのような不動産取引と法について学ぶ。（オンライン）
第12回	不動産と法2（発展）（オンライン）
第13回	事故と法1（基礎） 他人の持ち物をうっかり壊した場合に「弁償する」などという。また、自動車の運転免許証を取得する際には交通事故の「損害賠償」という語を教わるだろう。これら事故を解決する法について学ぶ。（オンライン）
第14回	事故と法2（発展）（オンライン）
第15回	総復習（オンライン）
第16回	定期試験（オンライン）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594004301	科目番号 / Course code	05940043
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●地域経済とソーシャルビジネス(人文・社会科学科目) / Regional Economy and Social Business		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所2F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにて質問を受け付ける。 junya-y▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	地域経済とソーシャルビジネスの定義、現状や課題を踏まえて、SDGs、ESG、エシカルやプラネタリーヘルスなどの視点から、個人や組織の社会性と地域経済の持続可能性との関係について学びます。		
授業到達目標/Course goals	1. 地域社会における多様性の重要性について説明できる。(DP4) 2. 地域社会において社会性と経済性を両立することの重要性や方法について説明できる。(DP2) 3. 1と2を踏まえて、地域社会の持続可能性について他者と協働して検討できる。(DP5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション課題50点 + レポート課題50点 = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：次回講義で採り上げる事例等について、新聞、TVやインターネットから情報を収集・整理する(2h)。 復習：講義で配布された資料を再読し、理解を確実なものとする(2h)。		
キーワード/Keywords	地域経済、ソーシャルビジネス、SDGs、ESG、エシカル消費、持続可能性		
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員作成の資料をLACSにて配布・使用するため教科書等は指定しない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	本講義は、全回対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	地域経済やソーシャルビジネスの現状や課題についてアンテナを高く張って自ら情報を収集することを心がけてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回4月9日(水)3校時	講義ガイダンス
第2回4月9日(水)4校時	地域経済の基礎理論 1
第3回4月16日(水)3校時	地域経済の基礎理論 2
第4回4月16日(水)4校時	地域経済の現状 1 : 長崎県を例に
第5回4月23日(水)3校時	地域経済の現状 2 : 長崎県を例に
第6回4月23日(水)4校時	ソーシャルビジネスの概論
第7回5月7日(水)3校時	ソーシャルビジネスの事例
第8回5月7日(水)4校時	ソーシャルビジネスの課題
第9回5月14日(水)3校時	グループワーク 1 : 地域課題の発見
第10回5月14日(水)4校時	グループワーク 2 : 地域課題の整理
第11回5月21日(水)3校時	グループワーク 3 : 地域課題の解決にかかるアイデア
第12回5月21日(水)4校時	グループワーク 4 : 地域課題の解決にかかる活動計画
第13回5月28日(水)3校時	グループワーク5 : ソーシャルビジネスプランの作成
第14回5月28日(水)4校時	グループワーク6 : ソーシャルビジネスプランの作成
第15回6月4日(水)3校時	プレゼンテーション 1
第16回6月4日(水)4校時	プレゼンテーション 2

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594004501	科目番号 / Course code	05940045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●都市環境を考える(人文・社会科学科目) / Introduction to Urban Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi, 片山 健介 / Kensuke Katayama		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi, 片山 健介 / Kensuke Katayama		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生(環境科学部の学生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	twatanab▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部4F 430		
担当教員TEL/Tel	095-819-2718		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 13:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	授業の概要：第1回目は、本講義の概要、本講義の全体を通じて基礎となる知識を説明する。以降は、担当教員の専門分野にもとづき、景観(2,3,4,5回目)、緑地(6,7回)、市街地とまちづくり(8,11,12回)、交通(9,10回)、広域計画(13,14,15回)に関わる講義が行われる予定である。 授業の位置づけ：本科目は、長崎市の都市環境を素材とした講義を通じて、多くの人が居住する都市環境を考える際の視点を獲得するための科目です。		
授業到達目標/Course goals	本講義の主要な目標は、各講義を通じて、(1)長崎の都市環境をめぐる歴史と現状を理解する、(2)都市環境とは多面的な側面から構成されていることを理解する、(3)都市環境の維持・発展に向けては様々な考えなければいけないことがあることを理解することです。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☐C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験：70%、修学状況：30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：授業内容に記載された内容に係る情報を新聞・テレビ・インターネットなどにより調べること。(2h) 復習：レジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	都市環境、景観、緑地、斜面市街地、交通、まちづくり、広域計画		
教科書・教材・参考書/Materials	教材：ハンドアウトを配付する予定です。 参考書：講義時に各教員が指示する予定です。本講義に大きく関係する参考書としては、以下があります。 谷村賢治・杉山和一・渡辺貴史(2012)：もう一つの長崎さるく 豊かな景観と育んだ歴史的個性・晃洋書房		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則、直接対面形式により実施します。授業形式を変更する場合には、LACS等を介して、連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞・テレビ・インターネットなどを通じて長崎の都市環境をめぐる情報を知ることが、本講義の内容を理解する上でとても有用です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	導入：講義の概要，計画とは何か（渡辺・対面）
第2回	都市環境とは何か，長崎市の概要（渡辺・対面）
第3回	景観の基礎知識（渡辺・対面）
第4回	長崎市の景観の特徴（渡辺・対面）
第5回	長崎市の個性を活かした景観の形成に向けて（渡辺・対面）
第6回	都市環境の形成に果たす緑地の役割（渡辺・対面）
第7回	長崎市の緑地の特徴（渡辺・対面）
第8回	長崎の住宅地の現状と課題（渡辺・対面）
第9回	長崎県における地域公共交通の現状（片山・対面）
第10回	斜面市街地の交通システム（片山・対面）
第11回	長崎市の中心市街地とまちづくり（片山・対面）
第12回	都市環境の形成と都市計画（片山・対面）
第13回	都市環境と広域的視点（片山・対面）
第14回	広域計画にみる長崎（片山・対面）
第15回	長崎の活性化と広域連携（片山・対面）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594005101	科目番号 / Course code	05940051
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●文字と社会(人文・社会科学科目) / Written Characters and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	keiko-s▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部514研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2302		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本語表現のうち文字言語によるものの特徴について、体験的に理解を深める。社会における文字情報が集積されている図書館を気軽に利用して、自分らしく活用する手がかりをつかむ。		
授業到達目標/Course goals	1) 過去現在のあらゆる分野の知見が、文字によって、図書館に格納されていることを体験的に理解することができる。 2) 文字言語との親しい関係を築くことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	5回の欠席で失格。10回以上出席の場合に、下記で評価する。60点以上で合格とする。 第1単元 提出物、発表 [30%] 第2単元 提出物、発表 [30%] 第3単元 提出物、発表 [30%] 試験 [10%]		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	図書館での調査、グループでの協議、個人レポートなど、事前事後(各2h)の学習の成果を紙媒体で提出することとします。量ではなく、質を求めます。		
キーワード/Keywords	日常生活、文字言語、親しみ		
教科書・教材・参考書/Materials	『わかりあえないことから』平田オリザ著 講談社現代新書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	個人で行うこととグループで行うことの両方ができること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	全回、対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	読むことと書くことは、訓練なしでは獲得できません。 意志を以て、読む力と書く力を獲得しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木慶子/高等学校国語科教員
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/9)	オリエンテーション、受講基礎調査 1冊、自分が所有している本を持参する(コミック以外)
第2回(4/9)	自己紹介のための自己分析、 「興味のあることの変遷表」を作る 図書館案内
第3回(4/16)	グループ分け、グループでの自己紹介
第4回(4/16)	グループの紹介
第5回(4/23)	本のあらまし読み入門 あらまし読みシートの作成
第6回(4/23)	図書館体験実習に関するオリエンテーション 受講基礎調査のフィードバック(1)
第7回(5/7)	長崎大学附属図書館体験(1) (配架、POP書き) / (資料保全、補習)
第8回(5/7)	長崎大学附属図書館体験(1) (資料保全、補習) / (配架、POP書き)
第9回(5/14)	長崎大学附属図書館体験(2) 新聞検索（誕生日と昭和19年同一日）、紙面の比較、考察
第10回(5/14)	報告会準備
第11回(5/21)	図書館体験実習報告会
第12回(5/21)	ビブリオバトルの事例を観察する
第13回(5/28)	ビブリオバトル(グループ予選、投票)
第14回(5/28)	ビブリオバトル(グループ代表による決勝)
第15回(6/4)	チャンプ本発表、チャンプ本を論評する
第16回(6/4)	定期試験

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594005301	科目番号 / Course code	05940053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●法学入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	本庄 萌, 西久保 裕彦 / Nishikubo Hirohiko, 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	本庄 萌		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	本庄 萌, 西久保 裕彦 / Nishikubo Hirohiko, 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	本庄 mhonjo▲nagasaki-u.ac.jp 菊池 hkikuchi▲nagasaki-u.ac.jp 西久保 hirohiko_nishikubo▲yahoo.co.jp (非常勤講師) (メールを送信する際は、▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	本庄 環426 菊池 環406		
担当教員TEL/Tel	本庄 095-819-2719 菊池 095-819-2725		
担当教員オフィスアワー/Office hours	本庄 随時(事前にメールでアポイントメントをとること) 菊池 水曜日1100-1200		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	法とは何か、法の意義と役割、法の支配など法に関する基本的な考え方や知識を学ぶとともに、日本国憲法に基づく個人の尊重、国民の権利の保障、裁判員制度を含む司法の仕組みなどの国のなりたちや、家族、契約、財産、労働など私たちの暮らしに関係する法のあらましを学びます。		
授業到達目標/Course goals	法に関する基本的な考え方や知識、日本国憲法に基づく国の仕組み、及び私たちの暮らしに関係する法の概略を理解し、その概要を説明できることが本授業の到達目標です。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(80%)、授業への積極的な取組状況(20%)の割合で評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: LACS上に事前に講義資料を掲載するので、あらかじめ目を通して分からない点を確認しておく(2h) 復習: 講義資料により復習を行い、講義内容を理解しているか確認する(2h)		
キーワード/Keywords	法の支配、基本的人権、三権分立、罪刑法定主義、契約の自由		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書:「法学入門(第6版補訂版)」末川 博倫(2014年)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面	
学生へのメッセージ/Message for students	法律というとなんだか難しそうですが、私たちが生まれた時から身近にあるものであり、トラブルに巻き込まれたときはもちろん、そうでなくても日常生活の中に常について回るものですので、この授業で法学の基礎について学んでいただければと考えています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	イントロダクション：本庄	A
第2回	家族と法(参考書第10講)：西久保	A
第3回	契約の自由(参考書第11講)：西久保	A
第4回	財産(参考書第12講)：西久保	A
第5回	損害賠償(参考書第13講)：西久保	A
第6回	労働者の権利(参考書第14講)：西久保	A
第7回	生活の保障(参考書第15講)：西久保	A
第8回	近代国家と憲法、権力分立(参考書第6講、第7講)：菊池	A
第9回	基本的人権(参考書第8講)：菊池	A
第10回	基本的人権(参考書第8講)：菊池	A
第11回	犯罪と処罰(参考書第9講)：菊池	A
第12回	法学を学ぶにあたって、法とは何か(参考書序講、第1講)：本庄	A
第13回	法の発展(参考書第2講)：本庄	A
第14回	法と裁判、法の解釈(参考書第3講、第4講、第5講)：本庄	A
第15回	まとめ：菊池	A
第16回	筆記試験	A

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594007501	科目番号 / Course code	05940075
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●経済から見る世界と日本(人文・社会科学科目) / The World and Japan in Economic Perspective		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡崎 洋太郎 / OKAZAKI YOTARO		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡崎 洋太郎 / OKAZAKI YOTARO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡崎 洋太郎 / OKAZAKI YOTARO		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部以外		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yotaro.okazaki ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階624研究室		
担当教員TEL/Tel	連絡はEメールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問・問合せについては、原則、Eメールにて受け付けます。 また、直接のやり取り(対面又はオンライン)を希望される場合には、Eメールにて日程調整をお願いします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	モノ・サービス、お金、人、情報が、頻繁にかつ大量に国境を越えて移動する時代となり、日本と諸外国との関係が多分野において深まっています。本講義では、こうしたグローバル化社会における日本と世界との関係について、主に経済の観点からの課題や日本との関係が深い諸外国の状況について考察していきます。		
授業到達目標/Course goals	・諸外国で何が起きているかを自ら調べることができるようになる。 ・諸外国での出来事が日本にどのような影響を及ぼし得るかを考え、説明することができるようになる。 ・地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各日の講義終了後の小テスト：小計60点 課題等：小計40点 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	予習：LACSに掲載された講義資料を読み、不明な用語等があれば調べて確認する。(2h) 復習：講義資料の再読及び小テストの実施により、理解を確実なものにする。(2h)		
キーワード/Keywords	世界貿易機関(WTO)、経済連携協定(EPA)、貿易統計、国際収支統計		
教科書・教材・参考書/Materials	講義資料はLACSに掲載します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	国際関係に関心のある学生だけでなく、外国のことなど自分や日本には関係ないと思っている学生の受講も歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	岡崎洋太郎 / 財務省では、国際貿易や開発協力、関税、税関行政等に関する実務を経験し、金融庁では、証券分野での国際協力（調査・法執行）等の業務を担当。世界税関機構（WCO）への出向経験のほか、国際機関等に関する業務経験としては、経済協力開発機構（OECD）、証券監督者国際機構（IOSCO）、環太平洋パートナーシップ（TPP）、東南アジア諸国連合（ASEAN）、世界貿易機関（WCO）等。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	序論（イントロダクション）【対面】
第2回	世界と日本の経済関係【対面】
第3回	世界と日本の経済関係【対面】
第4回	世界と日本の経済関係【対面】
第5回	世界と日本の経済関係【対面】
第6回	世界と日本の経済関係【対面】
第7回	アジアと日本の経済関係【対面】
第8回	アジアと日本の経済関係【対面】
第9回	欧州と日本の経済関係【対面】
第10回	北米と日本の経済関係【対面】
第11回	中南米と日本の経済関係【対面】
第12回	アフリカと日本の経済関係【対面】
第13回	食料安全保障【対面】
第14回	エネルギー安全保障【対面】
第15回	地球環境問題【対面】

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594008901	科目番号 / Course code	05940089
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 歴史学(人文・社会科学科目) / History		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	姉川 雄大		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	姉川 雄大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	姉川 雄大		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	anegawa▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	2928		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでアポイントをとってください		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	歴史学の基本的な考え方を紹介する。そのなかでも、特にネイション(国民、民族)を中心とした歴史の語りを相対化して考えるために、ヨーロッパ近現代社会の事例もできるだけ扱いたい。		
授業到達目標/Course goals	自身の住む社会を歴史学的な観点から相対化して考えるための方法論について事例をまじえながら説明することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加状況(授業期間中に課す課題によって評価する)50%+期末レポート(授業内容理解に加えて自分の言葉で論理的かつ根拠をもって論述できているかどうかによって評価する)50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布資料による事前学習(2h) 授業内で指定した文献による事後学習(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	授業内で指定する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	基本的に対面で実施するが、実施方法に変更がある場合はLACSにて通知する(数回程度オンラインまたはハイフレックスにする可能性がある)。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション<対面>
第2回	歴史学の方法論 (1) 学知の政治性について<対面>
第3回	歴史学の方法論 (2) マルクス主義とマルクス主義批判<対面>
第4回	歴史学の方法論 (3) 国民史と国民史批判<対面>
第5回	歴史学の方法論 (4) ポストコロナル理論<対面>
第6回	歴史学の方法論 (5) 近代化論批判の歴史学<対面>
第7回	歴史学の方法論 (6) 新自由主義時代<対面>
第8回	歴史学の方法論 (7) 感染症と歴史の現在<対面>
第9回	ヨーロッパ近現代史 (1) 近代以前のヨーロッパ<対面>
第10回	ヨーロッパ近現代史 (2) 資本主義<対面>
第11回	ヨーロッパ近現代史 (3) 自由主義<対面>
第12回	ヨーロッパ近現代史 (4) 国民主義<対面>
第13回	ヨーロッパ近現代史 (5) 工業化と社会問題<対面>
第14回	ヨーロッパ近現代史 (6) 帝国主義と現代化<対面>
第15回	まとめ<対面>

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594009101	科目番号 / Course code	05940091
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 音楽理論(人文・社会科学科目) / Music Theory		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	三上 次郎 / Mikami Jirou		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mikami ▲ nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2344		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音楽理論の内、楽典の領域を主に学習する。		
授業到達目標/Course goals	音符の構造、楽譜の構造、調性、和音について正しく理解できるようにする。(各コース・専攻に特徴的な専門的知識・技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各セクションごとの問題の解答を評価する。予備テストの合計点を基礎点とする。1500点満点を100点に換算する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前の予習(2h)、LACSの課題を通した学習(2h)		
キーワード/Keywords	楽典、音楽理論、和音、コードネーム		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に指定しない。参考書「楽典」理論と実習 石桁真礼生 他著		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	楽典レベルの音楽理論が理解できていることを前提に授業を始めるので、その領域の不完全な学習しかしていない学生は、あらかじめ準備をしておくこと。例年このシラバスの記載を読んでおらず、授業についてこれない学生がいるので特に注意すること。また、この件に関しては特にケアをしないので、了承の上履修すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	すべて対面で行う。		
学生へのメッセージ/Message for students	Lacsを使い学習をする。予備テストは講義終了までの間に必ず全部行うこと。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーションと音名 ドイツ語と日本語による音名を学習する。
第2回	音名と音符について ドイツ語と日本語による音名と音符の符割などを学習する。 リズムの基本構造を理解する。
第3回	音符と楽譜の読み方 変化記号の読み方の基本を中心に音名を抱き合わせで学習する。
第4回	音程について (1) 音程の初歩について学習する。 数字音程のみならず、長・短などの音程幅について学習する。
第5回	音程について (2) 少し幅の広い音程を学習する。
第6回	音程について (3) 減、増を含む複雑な音程を学習する。
第7回	長音階と調について 長音階の構造と長調について学習する。
第8回	音階音の名称と音階固有音について 音階固有音は環境音であることを理解し、音階音の名称 (主音・属音など) を学習する。
第9回	短音階と短調 3つの短音階の種類を学習し、短調について学習する。
第10回	調関係と調の判定 関係調について学習し、調号を使わない簡単な音列の調性を判定する方法を学習する。
第11回	三和音について 4種類の三和音の構造を学習する。
第12回	各調とその上に構成される三和音について Iから のローマ数字について学習する。
第13回	七の和音 七の和音についてその構造を学習する。 転回形を学習する。
第14回	コードネームについて 主にジャズやポピュラー音楽において使用されるコードネームの基本原理を学習する。
第15回	まとめ

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594010501	科目番号 / Course code	05940105
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●「洗う」の科学(人文・社会科学科目) / The Science of "Cleaning"		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	駒津 順子 / Komatsu Junko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	駒津 順子 / Komatsu Junko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	駒津 順子 / Komatsu Junko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	j.komatsu▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部4階408研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2268		
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み(事前にメールにてアポイントを取ること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	洗浄に関する問題点を科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。		
授業到達目標/Course goals	自ら生活に潜む問題点を発見し、それを解決するための考え方とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時に提示課題の評価(60%) 期末試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 適宜、講義内で指示します。(2H) 復習: 適宜、講義内で指示します。(2H)		
キーワード/Keywords	洗浄、洗濯、界面活性剤、掃除、家庭科教育、学校教育		
教科書・教材・参考書/Materials	講義資料は適宜配布するか、LACS(授業資料)に掲載します。 参考資料 ・大矢勝, 地球にやさしい 石けん・洗剤ものしり事典 爽快! 快適! 科学する洗剤選びと洗い方, ソフトバンククリエイティブ, 2008 ・大矢勝, 図解入門よくわかる 最新洗浄・洗剤の基本と仕組み, 2011 ・一般社団法人日本家政学会編著, 衣服の百科事典, 丸善出版, 2015 ・大矢勝 他, 洗浄の事典, 朝倉書店, 2022 ・阿部絢子, きみもなれる! 家事の達人 せんたく、少年写真新聞社, 2015 ・阿部絢子, きみもなれる! 家事の達人 そうじ、少年写真新聞社, 2015		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	PCを持参してください。 授業は対面で実施予定ですが、オンラインへ変更する場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	駒津順子 / 高等学校教諭として学校現場で家庭科の授業を担当。学校現場における衣生活教育の教材化および実用化に関する具体的な研究を実践している。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション / 洗濯の歴史(対面)
第2回	洗浄における酸・塩基(対面)
第3回	石けん・洗剤が汚れを落とす仕組みについて(対面)
第4回	洗濯の未来(対面)
第5回	クエン酸で水垢が落ちる仕組みと消費者情報の関連について(対面)
第6回	漂白と増白、衣類洗濯のコツと取り扱い絵表示、柔軟仕上げ剤について(対面)
第7回	30世紀の洗濯 / 家庭における酸洗浄のメカニズム(対面)
第8回	弱酸の遊離を説明せよ / 取り扱い絵表示と洗濯習慣(対面)
第9回	学校教育と洗浄の学習(対面)
第10回	弱酸の遊離を説明せよ / 各国の洗濯事情について(対面)
第11回	学校教科書の「洗浄（酸洗浄）」に関する調査(対面)
第12回	弱酸の遊離を説明せよ 酸洗浄との関連(対面)
第13回	液体洗剤、再汚染防止...よりよい洗濯習慣の提案に向けて(対面)
第14回	商業洗濯について(対面)
第15回	水垢をクエン酸で除去するメカニズムのロジックの解明(対面)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594010701	科目番号 / Course code	05940107
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●グローバルリスク社会を読み解くための人文社会科学概論(人文・社会科学科目) / " Global Risk Society " from the Perspective of Humanities and Social Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 南 誠 / Minami Makoto, 吉田 文彦 / Yoshida Fumihiko, 寺田 ゆき / Terada Yuki, 福田 紗耶香, 樋川 和子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 南 誠 / Minami Makoto, 吉田 文彦 / Yoshida Fumihiko, 寺田 ゆき / Terada Yuki, 福田 紗耶香, 樋川 和子		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	cmplrad▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel	819-2944		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現代社会のリスクは、様々な要因が複雑に絡み合い、ますます不確実性、予見不可能性に満ちたものとなっている。社会学者のベックは、まさにそのような現代社会の様相を「リスク社会」という言葉で表現した。そこでは、モダニティの持続的な発展および産業社会の存続可能性自体が、その前提としてリスクを内包している。 様々なレベルにおける社会的カストロフィ(崩壊)を回避しつつ、人類が21世紀を生き残り、100年後も幸福に生きられるような社会を実現するために、人文社会科学はどのような貢献が可能であろうか。本授業では、人文社会科学諸分野の「グローバルリスク社会」に対する捉え方を俯瞰しながら、このような人類共通の問いについて考察する。		
授業到達目標/Course goals	(1) 人文社会科学諸分野で「グローバルリスク社会」がどのように捉えられ、現在どのような問題が提示されているかを理解する。(DP-2,4) (2) (1)の理解にもとづき、身近な社会的事象を「グローバルリスク社会」という枠組みを通して自分なりに解釈し、表現できるようになる。(DP-1,2,4)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常点: 授業への積極的参加(ディスカッションやグループワークへの参加、アンケートへの回答など) 50% 課題点: レポートなど 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前学習】授業の内容に関連する社会事象について論文やニュースなどから情報を収集して授業に臨む。(1コマ/2時間) 【事前学習】授業の後には、授業内容に関連する書籍や論文を読み、授業についての理解を深める。(1コマ/2時間)		

キーワード/Keywords	リスク社会、不安、宗教、民族主義、排外主義、歴史認識、災害、移動、教育格差、経済格差、貧困、差別、虐待、移民、難民、テロリズム、紛争
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面だが、一部はオンライン（リアルタイムやオンデマンド）で実施される可能性もある。各授業の前に担当教員からの連絡を確認してください。
学生へのメッセージ/Message for students	授業への出席だけでは平常点は付与されないのでご注意ください。 グループワークやディスカッションへの参加、アンケートへの回答などが要件となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	吉田文彦 / 新聞記者・編集者実務：1980年に朝日新聞社に入社、ワシントン特派員、ブリュッセル支局長などを経て、2000年から論説委員、論説副主幹も務め、核問題を中心に社説などを執筆。 樋川和子 / 元外交官：1995年外務省入省。軍備管理軍縮課、在ウィーン国際機関日本政府代表部、在アメリカ日本大使館、不拡散・科学原子力課、在イラク日本大使館、女性参画推進室などで勤務（2013年8月～2019年12月まで外務省軍備管理・軍縮・不拡散専門官）。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（10/01）	はじめに ―「グローバルリスク社会」とは何か（コンベル担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第2回（10/08）	リスク社会における専門知と信頼（寺田担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第3回（10/08）	リスクと社会政策（寺田担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第4回（10/15）	リスク社会論における「不安」の再検討（南担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第5回（10/15）	リスク社会における「境界文化」研究の可能性（南担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第6回（10/22）	リスク社会と教育（1）（福田担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第7回（10/22）	リスク社会と教育（2）（福田担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第8回（10/29）	母子保健課題に関する貧困層の健康リスク（小松担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第9回（10/29）	貧困層が直面する多様なリスクの形（小松担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第10回（11/05）	クルド人問題 ― グローバルリスク社会を背景に ―（1）（ギョルベヤズ担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第11回（11/05）	クルド人問題 ― グローバルリスク社会を背景に ―（2）（ギョルベヤズ担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第12回（11/12）	核拡散というグローバルリスク（樋川担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第13回（11/12）	グローバルリスクと核兵器（吉田担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第14回（11/19）	グローバルな気候・水リスクとセキュリティ（濱崎担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）
第15回（11/19）	プラネタリーリスク社会と安全安心（コンベル担当） （対面、オンラインに変更する場合は、LACSでお知らせします）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594010901	科目番号 / Course code	05940109
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 会話分析：日常生活におけるコミュニケーションの仕組み(人文・社会科学科目) / Conversation Analysis : Mechanisms of Daily Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	李 頌雅 / LEE SONG YA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	李 頌雅 / LEE SONG YA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	李 頌雅 / LEE SONG YA		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	By appointments (e-mail); Fridays 3rd and 4th periods		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	The purpose of this course is to introduce students to the fundamentals of conversation analysis and therefore get a better understanding of daily communication. By learning the ways of collecting and analyzing data, students will be able to analyze verbal and non-verbal behaviors in both casual talk and institutional talk.		
授業到達目標/Course goals	Students will be able to explain the basic concepts of conversation analysis. Students will be able to transcribe conversation data following the transcription conventions. Students will learn the method of analyzing conversation data by reading previous researches.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	worksheets (30%) → Course goals and presentation(40%) → Course goals , and final report(30%) → Course goals and		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. 【Preview】Worksheets: Previewing the readings and fill in the worksheets (2h) 2. 【Review】Apply the knowledge learned from readings to data analysis and the preparation for the presentation (2h)		
キーワード/Keywords	Turn-taking, Sequence organization, Preference, Repair sequence, Membership categorization device, Assessments, Epistemics, Institutional talk		
教科書・教材・参考書/Materials	Please refer to the Japanese syllabus. Readings will be provided in class.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	Basically, classes will be held face-to-face. However, a blended model that combines both classroom activities and online learning might be adopted depending on the situation. In that case, the instructor will contact students by email, etc.
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Guidance: What is conversation analysis?
2	Ways of collecting data and transcribing conversations
3	Turn-taking Choosing the next speaker
4	Turn-taking Overlaps in conversation
5	Sequence organization: Adjacency pairs and preference
6	Co-construction in conversation
7	Repair sequences: self-initiated repair
8	Repair sequences: other-initiated repair
9	Membership categorization devices
10	Assessments in conversation
11	Epistemics in conversation
12	Storytelling
13	Institutional talk: Focusing on classroom conversations
14	Multimodal conversation analysis: How to describe and analyze non-verbal behavior?
15	Presentation and group discussion
16	Presentation and group discussion

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594010901	科目番号 / Course code	05940109
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 会話分析：日常生活におけるコミュニケーションの仕組み(人文・社会科学科目) / Conversation Analysis : Mechanisms of Daily Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	李 頌雅 / LEE SONG YA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	李 頌雅 / LEE SONG YA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	李 頌雅 / LEE SONG YA		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sylee▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階 李研究室		
担当教員TEL/Tel	sylee▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金3-4校時(なるべく事前にメールでアポイントメントをとってください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、言語学や社会学で応用されている会話分析の研究方法を学ぶことで、日常生活のコミュニケーションの仕組みを理解する。会話データの収集から分析までの手法を習得し、カジュアル会話および制度的会話における言語・非言語行動を客観的に分析できるようになる。		
授業到達目標/Course goals	会話分析の基本的な概念を説明できる。 会話データの文字化の仕方に従ってトランスクリプトを作成できる。 論文の読解によって会話データの分析方法を身につける。 自ら収集した会話データを2つ以上の概念で分析できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワークシート(30%) → 学習目標 、 に対応 発表 (40%) → 学習目標 、 、 に対応 期末レポート(30%) → 学習目標 、 に対応		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】配布文献を予習すること(2h) 【復習】授業の内容を復習した上で、ワークシートを記入して提出すること。さらに、データ分析、発表の準備と期末レポートの執筆に取り組むこと(2h)		
キーワード/Keywords	会話の順番交代システム、連鎖組織、優先組織、修復連鎖、成員カテゴリー化装置、評価、認識性、制度的会話		
教科書・教材・参考書/Materials	【参考書】適宜資料を配布します。 串田秀也・平本毅・林誠(2017)『会話分析入門』勁草書房 高木智世・細田由利・森田笑(2016)『会話分析の基礎』ひつじ書房 山崎敬一・浜日出夫・小宮友根・田中博子・川島理恵・池田佳子・山崎晶子・池谷のぞみ(2023)『エスノメソドロジー・会話分析ハンドブック』新曜社 好井裕明・山田富秋・西阪仰(1999)『会話分析への招待』世界思想社		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則的に対面形式で実施しますが、状況によってオンライン形式を併用する場合があります。その場合はメールなどで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	日常生活の雑談など、様々なコミュニケーションがどのようになされているかについて考えたことはありませんか。実は、会話分析の研究者たちはそのような行動にとっても関心があります。一緒に学んで、私たちが日常生活でどのようなコミュニケーションをしているのかを理解しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：会話分析とは何か
第2回	データ収集と文字化の要領
第3回	順番交替システム 話者の選択
第4回	順番交替システム 発話の重なり（オーバーラップ）
第5回	隣接ペアと優先組織
第6回	会話における「共話」という現象
第7回	修復連鎖 自己開始
第8回	修復連鎖 他者開始
第9回	成員カテゴリー化装置
第10回	会話における評価表現
第11回	会話における認識性
第12回	物語
第13回	制度的場面の会話：教室会話を中心に
第14回	マルチモーダル会話分析の方法：非言語行動をどう記述・分析するか
第15回	学生によるプレゼンテーションとディスカッション
第16回	学生によるプレゼンテーションとディスカッション

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594011901	科目番号 / Course code	05940119
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 平和・外交・安全保障入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Peace, Foreign Affairs and Security Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 充		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 充		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 充		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	michiru.nishida▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟2階(202)		
担当教員TEL/Tel	2924		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前のメール等で連絡してください。柔軟に対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	数十年に一度の大きな変動の時代を迎えている今、外交・安全保障関係者に留まらず、文系・理系を問わず、理解しておく必要がある平和・外交・安全保障の基本について、伝統的な課題から近年の新たな課題まで幅広く理解できるようになることが授業の主眼です。		
授業到達目標/Course goals	1. どの分野であろうと実社会に出て必要な外交・安全保障の基本的な問題を理解し、自ら考え、主張し、行動することができる。(DP-1, DP-2) 2. 外交・安全保障問題の基本的な理解をもとに、地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけることができる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加度合(出席、発言、発表、レスポンスなど)(70%)、グループ発表(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 資料を事前に読んでおくこと(2時間) (復習) 講義内容及び講義資料を基に復習すること(2時間)		
キーワード/Keywords	平和、外交、安全保障、軍事、同盟、核兵器、気候変動、新興技術、宇宙、サイバー、ディスインフォメーション、グローバルリスク、プラネタリーヘルス		
教科書・教材・参考書/Materials	随時指定する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	どれでもいいので関心をもって新聞をよく読んでください		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	従来、平和や安全保障の分野はイデオロギー的な議論に終始し、「平和」「核廃絶」対「軍事」「安全保障」「核抑止」といった形で二項対立に陥ることが多かったのですが、このままでは真の平和を追求することは困難となります。本来は二項対立ではなく、両立できるものです。激動の世界情勢においては、不幸な二項対立を乗り越えて、現状を正確に理解したうえで、そのような状況の中にあっていかに平和や核廃絶を追求するのかを主権者である我々一人ひとりが考えることができる力をつける必要があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	西田 充 / 外務省で25年間外交官としての経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	外交・安全保障の基本概念 (伝統的な安全保障、新たな安全保障、外交の役割、平和とは何か) (対面)
2	3つの体系による国際秩序: パワー (勢力均衡)、利益 (協調)、価値観 (共同体) (対面)
3	国際法と国際機関による安全保障 (対面)
4	核兵器の出現と制御の試み (抑止、軍備管理、軍縮、不拡散) (対面)
5	日本の安全保障・防衛政策 (日本を取り巻く安全保障環境、日本の防衛政策) (ゲストスピーカー) (対面)
6	日本の安全保障戦略 (安全保障関連3文書: 国家安全保障戦略を中心に) (対面)
7	憲法と安全保障 (集団安全保障、集団的自衛権) (対面)
8	日本の外交戦略 (FOIP、「ルールに基づく国際秩序」、「法の支配」、「人間の尊厳」) (対面)
9	国によって異なる安全保障観 (中国、北朝鮮、米国、韓国、ASEAN、欧州、ロシア) (対面)
10	ディスカッション (これまでのトピックについてグループ・ディスカッションと発表) (対面)
11	新たな安全保障課題: 新興技術 (AI、無人システム)、新たな領域 (宇宙、サイバー) (対面)
12	新たな安全保障課題: 認知戦、ディスインフォメーション (対面)
13	新たな安全保障課題: 民主主義の危機と権威主義の勃興 (対面)
14	新たな安全保障課題: 経済安全保障 (対面)
15	複合リスク: 気候変動、パンデミック、核、難民 (プラネタリーヘルス) (対面)
16	まとめのディスカッション グループ発表 (対面)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594012101	科目番号 / Course code	05940121
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 移民研究入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Migration Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	saihanjuna▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総研棟11階		
担当教員TEL/Tel	saihanjuna▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(ただし、事前にメールで連絡すること。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「グローバル化」の進展に伴い、アジア域内においても多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドをもつ人々は地球規模で移動している。本授業では、「多文化化」を加速させた日本社会に焦点を当て、日本をめぐる「ヒト」の移動(=移住現象)への理解を深める。授業では、グループワークなどのアクティブラーニングを部分的に用いる。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会の一員として「より広い視野」を持つようになること、 2. 日本には多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドをもった人々の存在への理解を深める、 3. 人の移動の理由・背景を学ぶこと、 4. 「共に生きる(多文化共生)」可能性を探ること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加(毎回の授業中の積極的な態度や課題への取り組み、コメントシートの内容、グループワークの結果を含む) 60%、最終試験(あるいは最終レポート) 40%の計100点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 配布資料を読み、自分の考えをまとめ、質問を準備すること。課題や最終試験等の準備。(2h) 復習: 分からなかった内容や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	移動、移民、多様性、国家、エスニシティ、ジェンダー		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書なし、LACS上で資料をを配布する。 適宜参考書も紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は対面で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	日本・アジアで多文化的な状況で暮らしていることが案外多い。日常生活の場面で外国人と出会うなど身近な出来事にも常に注意を払っておいてください。また、新聞などに目を通し、移民がおかれている状況にアンテナを張っておいてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の概要、アジア、日本における移動を学ぶ意義【対面】
第2回	授業の概要、アジア、日本における移動を学ぶ意義【対面】
第3回	「多民族国家」日本で行われている共存のありよう【対面】
第4回	「多民族国家」日本で行われている共存のありよう【対面】
第5回	移民の展開と「移動の女性化」【対面もしくはオンライン講義】
第6回	移民の展開と「移動の女性化」【対面もしくはオンライン講義】
第7回	労働市場の多文化化【対面もしくはオンライン講義】
第8回	労働市場の多文化化【対面もしくはオンライン講義】
第9回	家庭の多文化化【対面】
第10回	家庭の多文化化【対面】
第11回	学校の多文化化【対面】
第12回	学校の多文化化【対面】
第13回	地域社会の多文化化【対面】
第14回	地域社会の多文化化【対面】
第15回	まとめ【対面】
第16回	定期試験あるいはオンライン試験【対面もしくはオンライン】

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594012301	科目番号 / Course code	05940123
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 食料社会学入門(人文・社会科学科目) / Introduction to the Sociology of Food		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	YNACAY NYE ALAYNA DEANNE IRENE		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	YNACAY NYE ALAYNA DEANNE IRENE		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	YNACAY NYE ALAYNA DEANNE IRENE		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1st year students		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aynacaynye@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	10th Floor of the General Education and Research Building		
担当教員TEL/Tel	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Anytime. Please contact me by email ahead of time.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	While we all eat food, not many of us really think about where our food comes from, who produces it or under what conditions. This course introduces fundamental concepts used in International Political Economy and Sociology to examine the structural challenges of global food systems.		
授業到達目標/Course goals	Learn about basic concepts from International Political Economy and Sociology (DP-1, DP-2) To acquire basic knowledge about food systems and practicing how to examine societal		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Presentations: 40% Participation: 50% Reflections 10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	All students will be expected to read the materials for each class (1h). Students assigned to that day will be asked to create a presentation based on the reading (2h). The presentation should include a summary, their thoughts on the topic, and discussion questions. All students should prepare questions and participate in discussion and activities assigned on the topic of the day (1h).		
キーワード/Keywords	International Political Economy of Food, Sociology of Food		
教科書・教材・参考書/Materials	Textbook ほんとうのサステナビリティってなに?: 食と農のSDGs (2) (テーマで探究 世界の食・農林漁業・環境 2) by 関根 佳恵		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	None required.		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	At Nagasaki University, we are committed to removing social barriers and providing reasonable accommodations to ensure that all students have equal access to education. If you require support or reasonable accommodations for your studies, please consult the course instructor (see contact information above) or contact the "Assist Plaza" (Office for Students with Disabilities). Assist Plaza (Office for Students with Disabilities) Contact Information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	Each class will be conducted face-to-face.
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回－第2回	Orientation (face-to-face) Topic: Sociology of Food, SDGs and agriculture, forestry, and fisheries Group Work (search, analyze, present) Reflection (individual assignment)
第3回－第4回	Topic: Family Farms (face-to-face) Student Presentations and Discussion Group Work (search, analyze, present) Reflection (individual assignment)
第5回－第6回	Topic: From the Japanese Table (Japanese food products) (face-to-face) Student Presentations and Discussion Group Work (search, analyze, present) Reflection (individual assignment)
第7回－第8回	Topic: Trade and Distribution (face-to-face) Student Presentations and Discussion Group Work (search, analyze, present) Reflection (individual assignment)
第9回－第10回	Topic: Land and Labor (face-to-face) Student Presentations and Discussion Group Work (search, analyze, present) Reflection (individual assignment)
第11回－第12回	Topic: Technology (face-to-face) Student Presentations and Discussion Group Work (search, analyze, present) Reflection (individual assignment)
第13回－第14回	Topic: Society and Policy (face-to-face) Student Presentations and Discussion Group Work (search, analyze, present) Reflection (individual assignment)
第15回	Course Wrap-up (face-to-face)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594012301	科目番号 / Course code	05940123
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 食料社会学入門(人文・社会科学科目) / Introduction to the Sociology of Food		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	YNACAY NYE ALAYNA DEANNE IRENE		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	YNACAY NYE ALAYNA DEANNE IRENE		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	YNACAY NYE ALAYNA DEANNE IRENE		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aynacaynye▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟10F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。事前Eメールで事前に日時を相談してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	皆は食べるけど、その食べ物がどこから来ているのか、誰が生産している、どの条件としてについて深く考える人は多くない。本講義では国際政治経済学や社会学の基礎としての思想を整理しながら、世界の食料システムの構造的課題により基礎的な概念を理解する。		
授業到達目標/Course goals	国際政治経済学や社会学の基礎知識を身につけること (DP-1, DP-2) 食料システムに関する基本的な知識を紹介し、批判的思考を用いて社会問題を考察する方法を実践すること (DP-3)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表 40% 参加 50% 振り返り 10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	各回の文献は事前に全員が読了して授業に臨んでください(1時間)。報告者は事前に打ち合わせして資料(内容、印象、質問)を作成します(2時間)。全員の受講者も事前に資料を熟読し内容について不明な点を明確に報告者に質問することです(1時間)。		
キーワード/Keywords	国際政治経済学、食料社会学		
教科書・教材・参考書/Materials	教材 ほんとうのサステナビリティってなに?: 食と農のSDGs (2) (テーマで探究 世界の食・農林漁業・環境 2) by 関根 佳恵		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業実施方法：対面
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面） 課題：食料社会学、SDGsと農村漁業について グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第2回	オリエンテーション（対面） 課題：食料社会学、SDGsと農村漁業について グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第3回	課題：家族農業（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第4回	課題：家族農業（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第5回	課題：日本の食卓から（日本の食料品について）（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第6回	課題：日本の食卓から（日本の食料品について）（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第7回	課題：貿易と流通（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第8回	課題：貿易と流通（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第9回	課題：土地と労働（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第10回	課題：土地と労働（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第11回	課題：テクノロジー（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）

第12回	課題：テクノロジー（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第13回	課題：社会と政策（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第14回	課題：社会と政策（対面） 学生による発表とディスカッション グループワーク（調べる、分析する、発表する） 振り返り（個人課題）
第15回	まとめ（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594012501	科目番号 / Course code	05940125
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●企業の仕組みと行動(人文・社会科学科目) / Organization and Behavior of Enterprise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部(方淵キャンパス)本館502号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6403		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:00-17:00 (メールもしくは講義前後に要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業は外部に向けて経営状況を報告する義務を負うが、一連の企業レポートがどのように行われ、投資家がそれをどのように活用して経済的意思決定に組み込むのか、また企業は市場でいかにして信頼を得るのかを学ぶ。また企業を取り巻く政策決定のジレンマを題材にディスカッションを行う。		
授業到達目標/Course goals	変化し続ける社会環境において、最適解を見つける社会科学の特徴と意義を理解し、企業開示問題を題材としながら問題解決する能力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中のグループワーク(30%)、期末試験(50%)、その他ディスカッション参加度など(20%)による評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	教科書理解の部分は予習復習。 グループワークの作法を学習した後、講義外で練習を行う。 (4h)		
キーワード/Keywords	財務諸表、企業報告、任意開示、戦略マネジメント、投資意思決定		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて適宜紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	自ら考え動く主体的単度を要する。また、講義内容の理解は、初回からの知識の蓄積により達成されるものであり、グループワーク実施にも一定の共有知識が必要である。そのため毎回出席して理解を高める必要がある。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	講義のグループワークを始める前に、コーチングとファシリテーションの作法を少し話します。初めての方には、新鮮な体験ワークとなります。学び方の学びです。傾聴技法（active listening）、他者感知、質問技法、つまり「聴く」「感じる」「伝える」の一連主体的反応の訓練を通して、学友との刺激の中で自らの解を練り上げる訓練をします。
学生へのメッセージ/Message for students	答えのない問を考え続ける楽しさを体験してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション（オンライン） 企業と社会の関係～財務報告と監査の役割を理解する
第2回	社会科学としての会計学（オンライン） 問題解決型の社会科学について考える
第3回	財務報告の手段（オンライン） 主要財務諸表と非財務情報
第4回	財務報告の国際的動向（オンライン） 財務報告の目的変遷～会計説明責任と投資意思決定支援
第5回	監査の現場の問題（１）（対面） 会計士のジレンマ
第6回	監査現場の問題（２）（対面） ディスカッション
第7回	監査現場の問題（３）（対面） 監査人の独立性
第8回	監査現場の問題（４）（対面） ディスカッション
第9回	制度決定現場の問題（１）（対面） 功利主義とビジネス倫理
第10回	制度決定現場の問題（２）（対面） ディスカッション
第11回	制度決定現場の問題（３）（対面） 貨幣価値測定とビジネス倫理
第12回	制度決定現場の問題（４）（対面） ディスカッション
第13回	企業の情報開示と信頼構築（１）（対面） 環境問題報告の影響
第14回	企業の情報開示と信頼構築（２）（対面） ディスカッション
第15回	振り返り総括（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/06/09 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20250594012701	科目番号 / Course code	05940127
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●ゲーミフィケーションで学ぶコミュニケーション (人文・社会科学科目) / Learning communication through gamification		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori, 坂井 裕紀 / Sakai Hironori, 中島 ゆり / Nakajima Yuri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori, 坂井 裕紀 / Sakai Hironori, 中島 ゆり / Nakajima Yuri		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2101		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自分のキャリアビジョンを実現するためには、何が必要なのか。 とくに、企業が新卒採用選考で重視するポイントとして16年連続で第1位(経団連調査2018)である「コミュニケーション能力」の観点から考える。自身のキャリアデザインを見直しながら、今後の大学生活において、どのような知識やスキルが必要なのかキャリアについて再考する機会とする。		
授業到達目標/Course goals	(1) 社会に出る前に必要なコミュニケーション力について理解することができる。 (2) 自分のキャリアビジョンを実現するために必要なコミュニケーションスキルについて理解し、その習得のための計画を立てることができるようになる。 (3) 自分のアイデアや意見や考えをまとめ、わかりやすく論理的に伝えることができるようになる。 (4) 他者との協働を通じ、他者を理解し相手も自分も尊重したコミュニケーションがとれるようになる。 (5) 学んだコミュニケーションスキルを日常生活で実践することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポート課題(5点×7回)+演習課題(20点)+ワーク・レポート課題(40点)+授業貢献度(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習(2h)...課題として資料やスライドを作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてレポートやワークシートなど作成し、LACSから提出。		
キーワード/Keywords	ゲーミフィケーション、シリアスゲーム、コミュニケーションスキル、キャリア		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料や動画、参考文献などをLACSに掲載。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	講義中のワークに主体的に取り組む態度が身についていること。 自分のアイデアをまとめ、表現しようという意欲があること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業とオンライン（オンデマンド）授業を組み合わせ実施。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学公認の全学サークル「お笑いサークルCCC」の学生にも協力していただきながら、ゲーミフィケーションの手法でワークショップ型の授業を行います。ゲーミフィケーションとは、ゲームの要素をゲーム以外の分野（ここでは講義）に取り入れること。ゲーム感覚で自分のキャリアを築いていきましょう。楽しく学びたい方、大歓迎！
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香 / 日本放送協会(NHK)アナウンスにてニュース・報道番組のキャスター歴17年。 政治家・経営者などにコミュニケーションスキルの指導を行うための講演・研修実績多数。 著書に、コミュニケーションスキルなどについて記した『最初の15秒でスッと打ち解ける 大人の話し方』（日経BP）『大人の伝え方ノート 一言で「人間関係」はガラッと変わる』（SBクリエイティブ）などベストセラー多数。 この実務経験を生かして、ワークショップを取り入れながら実践的なコミュニケーション指導を行う。 坂井 裕紀 / 東京大学大学院情報学環・学際情報学府 特任研究員。ゲーム教材の開発やゲーミフィケーションを用いた教育デザインなどの実務経験を活かして、教育のゲーミフィケーションに必要な基本的知識を指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	6月11日（水）対面 オリエンテーション 担当：矢野
第2回	6月11日（水）対面 本学のディプロマポリシー再確認とポートフォリオについて 担当：中島
第3回	6月18日（水）対面 ゲーミフィケーション概論 担当：矢野・非常勤講師 坂井
第4回	6月18日（水）対面 教育のゲーミフィケーション 担当：矢野・非常勤講師 坂井
第5回	6月25日（水）対面 人生100年時代を生きるために 担当：矢野
第6回	6月25日（水）対面 人生100年時代を生きる最新キャリア戦略 担当：矢野・プロティアンキャリア協会認定講師を招聘
第7回	7月2日（水）対面 VUCA時代のコミュニケーション力 担当：矢野
第8回	7月2日（水）対面 VUCA時代のコミュニケーション力 担当：矢野
第9回	7月9日（水）対面 ゲーミフィケーション演習 担当：矢野
第10回	7月9日（水）対面 ゲーミフィケーション演習 担当：矢野

第11回	7月16日（水）対面 ゲーミフィケーション作成 担当：矢野
第12回	7月16日（水）対面 ゲーミフィケーション作成 担当：矢野
第13回	7月23日（水）オンライン 自己分析 -あなたのコミュニケーション力は大丈夫？ 担当：矢野
第14回	7月23日（水）オンライン 社会に出る前に知っておきたいコミュニケーション・マナー 担当：矢野
第15回	8月6日（水）対面 まとめ 担当：矢野

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250596003501	科目番号 / Course code	05960035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●長崎歴史文化学(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / History and Culture of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	原口 茂樹 <papishige60.58devimayu▲snow.plala.or.jp> (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎史を通じて、長崎の視点から日本史、世界史も学びます。柱になるのはオランダ通詞の業績とキリスト教文化です。長崎と浦上の史跡探訪。ゲーム学習や簡単な聖歌歌唱、聖画模写、工作等が入ります。		
授業到達目標/Course goals	1. 長崎学を通史で学ぶことにより、長崎史の視点から中央史の歪みのある部分を指摘することができる。 2. 日本近代化の基礎を形作りながらも、世に忘れられたオランダ通詞の業績を、学び伝えることができる。 3. 浦上を中心にした本県の四百年にわたるキリスト教文化の変遷を、感動をもって実習することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の課題・感想提出、授業への取り組み・発表10点前後×6回 60点 長崎蘭学の回 15点 最終レポート 15点 実習加算点10点 総計100点のうち60点以上を合格とする		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	予習: 配布テキストに目を通したうえで講義にのぞむこと。(4h) 復習: テキスト、Q&A集を再読し、理解を確実にするよう努めること。(4h)		
キーワード / Keywords	祭り 巫女 漢字 地名 オランダ通詞 隠れキリシタン 聖歌と聖画 浦上の工業		
教科書・教材・参考書 / Materials	初回到テキスト、フィールドワーク冊子配布。Q&A集は随時配布。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	日本語能力試験N2以上		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で行います。コロナ等の状況に応じてオンデマンド教材をLACSで流すこともありますが、その場合は前時の授業やLACSで連絡します。2回予定しているフィールドワークの雨天順延についてもLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	神功皇后伝説や祭・アニメにみる巫女の姿、地名・人名から尋ねる荘園と武士の世界、近世を開いた長崎の町と長崎の人たちの業績、また長大の位置する浦上が世界的な殉教の地、工業の地であること、これらを文献や映像、実習、フィールドワークで学びます。なお、天候や感染症に合わせて単元を入れ替え、配点を加減することがあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	原口 茂樹 / 長崎県公立学校での41年間の授業経験 / 活水高等学校において10年間の長崎文化学の授業経験（継続中）
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1. 祭の本質と長崎の祭 神功皇后伝説と神聖姫巫女 及び神子と市子 漢字と風土（対面）
第2回	2. シミュレーションゲームで学ぶ荘園と武士の起こり 地名と氏名から探る我々のルーツとなる荘園（対面）
第3回	3. 長崎くんちの奉納踊りやパイレーツ映画にみる大航海時代と戦国の開港 イエズス会の布教とセミナリヨ グレゴリオ聖歌と聖画 遣欧少年使節（対面）
第4回	4. 映画「沈黙」にみる弾圧の時代 「ガリバー旅行記」にみるオランダの時代 隠れキリシタンの文化実習～天地始之事（朗読） 歌オラショ（歌唱）（対面）
第5回	5. <長崎フィールドワーク>（雨天時単元入替） 大波止 出島 岬の教会 各通詞邸跡 自治都市長崎の城壁と堀 勝山代官屋敷・教会跡 会所跡 特別講師：根岸淳幸（対面）
第6回	6. 引き続き<長崎フィールドワーク> 歴文 立山奉行所 諏訪神社 マグドナルド碑 堂門橋 桜馬場城 教会跡の春徳寺等 特別講師：根岸淳幸（対面）
第7回	7. 長崎FWの振り返り 日本近代化の基点・長崎蘭学 オランダ通詞・吉雄耕牛とオランダ座敷 同僚・本木良永の真摯な翻訳作業 江戸蘭学の育成と弟子・杉田玄白の裏切り（対面）
第8回	8. 翻訳と造語の実際 二人の子弟 志筑忠雄 本木正栄 吉雄権之助らによる文法の解析とズーフハルマ辞書の完成 シーボルト事件による通詞団の壊滅 オランダ通詞と文法小テスト（対面）
第9回	9. <信仰の聖地・浦上フィールドワーク>（雨天時単元入替） サンタクララ教会跡 秘密教会跡 キリシタン墓地 ベアトス様殉教碑 山里小資料館 如己堂 帳方屋敷 浦上街道 ザベリオ堂跡 キリシタン資料館 浦上天主堂 鐘楼 資料館 庄屋屋敷跡 特別講師：根岸淳幸（対面）
第10回	10. 引き続き<浦上フィールドワーク> 医学部被爆遺構 高谷屋敷内稚桜神社 平ノ宿跡 歴史民俗資料館 天主堂遺壁 平和公園解散 特別講師：根岸淳幸（対面）
第11回	11. 浦上FWの振り返り 近代分岐・明治の国作りゲーム 唐文化と唐通事 長大と東大 前史の比較（対面）
第12回	12. ベリー艦隊は佐賀藩築造の長崎・四郎ヶ島台場に勝てたか 幕末金銀流失の真実（対面）
第13回	13. 大村藩の渡辺昇 鞍馬天狗と新選組 薩長同盟 浦上四番崩れの指揮 同期・長与専斎と衛生二人の後輩 長岡半太郎による原子模型及び朝永振一郎 湯川秀樹 仁科博士らノーベル賞集団の育成（対面）
第14回	14. 第二次大戦と浦上 近代科学とABC兵器 浦上洲村と戦艦 浦上家野村と魚雷（対面）
第15回	15. ミッションスクールと教養教育 ポップカルチャーの聖地長崎 Q&A解説 長崎学・浦上学レポート 中央への発信 CD製作の試み等（対面）
第16回	（予備回、自由実習の継続、質疑応答等）（対面）